



# 災害対応を支える 空間表現技術

-日本地図学会-

Japan Cartographers Association -



ICC 2019  
TOKYO  
Mapping Everything for Everyone

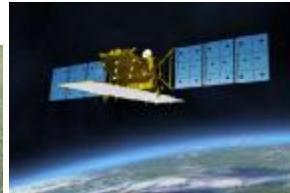
地図学・GIS・空間表現・地理空間情報活用等の研究普及を行う学術団体。1962年創立。

- 災害対応に不可欠な地理空間情報。
- イノベーションにより新たな地理空間情報技術が次々に導入され、災害現場で活躍している。



国土地理院HPより

特定非営利活動法人  
CRiS!Smappers JAPAN



JAXA HPより



国土地理院HPより

## 防災に関する日本地図学会の研究テーマの例

- 災害リスクの可視化（地形分類図、活断層図）
- ハザードマップ
- 災害状況の把握
- ウェブマップによる災害情報の統合
- 「逃げ地図」避難ナビゲーション
- 防災アプリ
- リスクコミュニケーション
- クライシスマッピング
- AIの活用による迅速な災害状況の把握
- 3DやVR、ARの利活用

仙台防災枠組24(C)

地理空間情報技術を可能な限り利用して、リスクマップを含む、位置に基づく災害リスク情報を整備し、定期的に更新し、意思決定者や一般市民、災害リスクのある地域コミュニティに適切な形式で提供すること。